



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月2日

上場会社名 京王電鉄株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9008 URL <https://www.keio.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 紅村 康
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部経理部 (氏名) 森 雅弘 (TEL) 042-337-3135
 経理担当課長
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	99,992	0.6	11,799	0.2	11,554	0.7	7,842	5.7
28年3月期第1四半期	99,403	4.1	11,770	23.7	11,470	20.7	7,418	23.2

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 5,009百万円(△48.1%) 28年3月期第1四半期 9,652百万円(35.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	12.85	—
28年3月期第1四半期	12.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	789,662	314,162	39.8
28年3月期	820,177	311,818	38.0

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 313,921百万円 28年3月期 311,578百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	4.00	—	4.50	8.50
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	4.50	—	4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	205,800	1.6	21,500	△6.1	20,100	△7.0	13,300	△5.4	21.78
通期	426,900	2.6	37,900	0.4	35,200	0.4	19,800	1.7	32.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】5ページ「(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】5ページ「(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年3月期1Q	642,754,152株	28年3月期	642,754,152株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	32,185,257株	28年3月期	32,181,560株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年3月期1Q	610,570,305株	28年3月期1Q	610,593,088株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、【添付資料】5ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第1四半期連結累計期間の業績全般

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
連結営業収益	99,403	99,992	588	0.6	416,254
連結営業利益	11,770	11,799	29	0.2	37,758
連結経常利益	11,470	11,554	84	0.7	35,066
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	7,418	7,842	424	5.7	19,468
連結E B I T D A	20,197	20,266	69	0.3	73,740
連結減価償却費	8,325	8,365	40	0.5	35,577

(注) 連結E B I T D Aは、連結営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出しております。

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年6月30日)におけるわが国経済は、雇用情勢の改善などにより、緩やかな回復基調となりました。一方、中国を始めとするアジア新興国の景気下振れや金融市場の不安定な動きの影響もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもとで、当社グループは、平成27年度を初年度とする「京王グループ中期3カ年経営計画」に基づき、鉄道事業の安全性・収益力の向上や沿線の活性化のほか、既存事業の選択と集中や将来の増収にむけた投資など、変化する経営環境に柔軟に対応し、成長の実現に向けた諸施策を推進しております。

その結果、流通業、その他業を除く各セグメントで増収・増益となり、連結営業収益は999億9千2百万円(前年同期比0.6%増)、連結営業利益は117億9千9百万円(前年同期比0.2%増)となりました。連結経常利益は115億5千4百万円(前年同期比0.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は78億4千2百万円(前年同期比5.7%増)となりました。

なお、連結E B I T D Aは、202億6千6百万円(前年同期比0.3%増)となりました。

また、連結減価償却費は、83億6千5百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

②当第1四半期連結累計期間の各セグメント別の概況

(単位：百万円)

	営業収益			営業利益又は損失(△)		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率
			%			%
運輸業	32,571	32,634	0.2	5,495	5,883	7.1
流通業	39,825	38,367	△3.7	1,787	1,441	△19.4
不動産業	8,111	9,139	12.7	2,449	2,472	1.0
レジャー・サービス業	16,473	17,688	7.4	1,926	2,042	6.0
その他業	9,430	8,805	△6.6	93	△109	—
計	106,413	106,636	0.2	11,752	11,730	△0.2
連結修正	△7,009	△6,643	—	18	69	277.5
連結	99,403	99,992	0.6	11,770	11,799	0.2

(運輸業)

鉄道事業では、雇用情勢の改善やダイヤ改正効果があったことなどにより、旅客運輸収入は1.3%増(うち定期1.7%増、定期外1.0%増)となりました。バス事業では、新宿高速バスターミナル閉鎖による使用料収入の減少があったことなどにより減収となりました。これらの結果、営業収益は326億3千4百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は58億8千3百万円(前年同期比7.1%増)となりました。

(流通業)

百貨店業では、売上低迷などにより減収となりました。また、書籍販売業では、不採算店舗を閉鎖した影響などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は383億6千7百万円(前年同期比3.7%減)、営業利益は14億4千1百万円(前年同期比19.4%減)となりました。

(不動産業)

不動産賃貸業では、賃貸物件の増などにより増収となりました。また、不動産販売業では、リノベーション物件の売上増などにより増収となりました。これらの結果、営業収益は91億3千9百万円(前年同期比12.7%増)、営業利益は24億7千2百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

(レジャー・サービス業)

ホテル業では、「京王プラザホテル」で外国人利用客を中心に客室単価が向上したほか、「京王プレッソイン」では既存店が堅調に推移したことに加え、昨年7月に開業した「京王プレッソイン赤坂」が寄与したことにより増収となりました。また、旅行業では、新規の大型案件獲得に努めた結果、団体旅行の増加などにより増収となりました。これらの結果、営業収益は176億8千8百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益は20億4千2百万円(前年同期比6.0%増)となりました。

(その他業)

建築・土木業では、完成工事高の減少などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は88億5百万円(前年同期比6.6%減)、営業損失は1億9百万円となりました。

[鉄道事業輸送人員と旅客運輸収入]

			前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比(%)
輸送人員	定期	千人	100,306	101,861	1.6
	定期外	〃	67,530	68,109	0.9
	計	〃	167,836	169,970	1.3
旅客運輸収入	定期	百万円	8,828	8,978	1.7
	定期外	〃	11,517	11,626	1.0
	計	〃	20,345	20,605	1.3

[業種別営業収益]

(単位：百万円)

	業種別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
運輸業	鉄道事業	21,196	21,408	1.0	83,776
	バス事業	8,854	8,780	△0.8	35,327
	タクシー業	3,091	3,237	4.7	12,500
	その他	648	638	△1.5	2,763
	消去	△1,219	△1,430	—	△5,156
	営業収益	32,571	32,634	0.2	129,210
	営業利益又は損失(△)	5,495	5,883	7.1	15,089
流通業	百貨店業	21,542	20,671	△4.0	87,456
	ストア業	11,634	11,423	△1.8	46,282
	書籍販売業	2,129	1,795	△15.7	8,198
	ショッピングセンター事業	3,318	3,191	△3.8	12,973
	その他	2,965	2,897	△2.3	11,730
	消去	△1,764	△1,611	—	△6,694
	営業収益	39,825	38,367	△3.7	159,946
	営業利益又は損失(△)	1,787	1,441	△19.4	4,724
不動産業	不動産賃貸業	7,826	8,283	5.8	31,966
	不動産販売業	1,796	2,522	40.5	12,116
	その他	347	369	6.3	1,483
	消去	△1,858	△2,036	—	△7,678
	営業収益	8,111	9,139	12.7	37,888
	営業利益又は損失(△)	2,449	2,472	1.0	8,633
レジャー・サービス業	ホテル業	11,659	12,310	5.6	48,407
	旅行業	3,443	3,751	9.0	16,948
	広告代理業	2,086	2,265	8.6	12,091
	その他	1,651	1,757	6.4	6,275
	消去	△2,366	△2,396	—	△9,643
	営業収益	16,473	17,688	7.4	74,079
	営業利益又は損失(△)	1,926	2,042	6.0	6,016
その他業	ビル総合管理業	4,301	4,474	4.0	22,498
	車両整備業	1,081	1,306	20.7	9,468
	建築・土木業	2,889	1,911	△33.8	24,222
	その他	1,567	1,600	2.1	7,140
	消去	△409	△487	—	△2,484
	営業収益	9,430	8,805	△6.6	60,845
	営業利益又は損失(△)	93	△109	—	4,347

(注) 平成28年4月にストア業を運営する「榊王ストア」と駅売店業を運営する「京王リテールサービス(株)」が合併したことによる、当第1四半期連結累計期間より駅売店業はストア業に含めて表示しております。前第1四半期連結累計期間および前連結会計年度についても同様の組替を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第1四半期 連結会計期間	増減額
総資産	820,177	789,662	△30,514
負債	508,358	475,500	△32,858
純資産	311,818	314,162	2,343
負債及び純資産	820,177	789,662	△30,514
有利子負債	339,306	327,517	△11,788

(注)有利子負債は、借入金 + 社債により算出しております。

当第1四半期連結会計期間の総資産は、短期資金運用を目的とした譲渡性預金の減少や、売掛金の回収があったことなどにより305億1千4百万円減少し7,896億6千2百万円となりました。

負債は、第24回無担保割引社債の償還や工事代金の支払いなどにより328億5千8百万円減少し4,755億円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより23億4千3百万円増加し3,141億6千2百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間の有利子負債は3,275億1千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間、通期とも、前回公表時(平成28年4月28日)の予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

1. 「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加算しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が84百万円、利益剰余金が84百万円増加しております。

2. 法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,059	34,758
受取手形及び売掛金	34,485	28,916
有価証券	54,850	24,850
商品及び製品	12,245	12,732
仕掛品	16,658	18,167
原材料及び貯蔵品	2,013	1,988
その他	10,201	10,548
貸倒引当金	△57	△59
流動資産合計	165,456	131,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	323,371	319,168
土地	198,373	208,366
建設仮勘定	16,413	18,725
その他(純額)	42,222	40,594
有形固定資産合計	580,379	586,855
無形固定資産	9,997	9,639
投資その他の資産		
投資有価証券	43,811	39,913
その他	20,717	21,529
貸倒引当金	△185	△180
投資その他の資産合計	64,343	61,263
固定資産合計	654,720	657,758
資産合計	820,177	789,662

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,424	14,026
短期借入金	76,399	76,822
1年内償還予定の社債	10,000	-
未払法人税等	8,411	4,184
引当金	4,272	4,358
その他	77,195	65,826
流動負債合計	195,703	165,218
固定負債		
社債	130,000	130,000
長期借入金	122,906	120,694
退職給付に係る負債	20,565	20,508
その他	39,183	39,078
固定負債合計	312,655	310,281
負債合計	508,358	475,500
純資産の部		
株主資本		
資本金	59,023	59,023
資本剰余金	42,010	42,010
利益剰余金	219,231	224,411
自己株式	△19,483	△19,487
株主資本合計	300,782	305,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,866	7,156
為替換算調整勘定	10	7
退職給付に係る調整累計額	919	799
その他の包括利益累計額合計	10,796	7,962
非支配株主持分	240	240
純資産合計	311,818	314,162
負債純資産合計	820,177	789,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
営業収益	99,403	99,992
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	76,377	76,787
販売費及び一般管理費	11,255	11,405
営業費合計	87,633	88,192
営業利益	11,770	11,799
営業外収益		
受取利息	14	8
受取配当金	614	604
持分法による投資利益	12	-
雑収入	256	235
営業外収益合計	898	849
営業外費用		
支払利息	1,082	1,007
持分法による投資損失	-	2
雑支出	116	84
営業外費用合計	1,198	1,094
経常利益	11,470	11,554
特別利益		
受取損害賠償金	-	109
工事負担金等受入額	17	100
その他	114	92
特別利益合計	131	302
特別損失		
固定資産除却損	109	115
固定資産圧縮損	19	100
その他	113	7
特別損失合計	243	222
税金等調整前四半期純利益	11,358	11,634
法人税等	3,939	3,791
四半期純利益	7,419	7,843
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,418	7,842

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	7,419	7,843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,637	△2,710
退職給付に係る調整額	△404	△120
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△2
その他の包括利益合計	2,232	△2,833
四半期包括利益	9,652	5,009
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,651	5,009
非支配株主に係る四半期包括利益	1	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
営業収益	32,571	39,825	8,111	16,473	9,430	106,413	△7,009	99,403
セグメント利益	5,495	1,787	2,449	1,926	93	11,752	18	11,770

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
営業収益	32,634	38,367	9,139	17,688	8,805	106,636	△6,643	99,992
セグメント利益 又は損失(△)	5,883	1,441	2,472	2,042	△109	11,730	69	11,799

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。